



[プライマネージ]
PRIMANAGE
CSS Open Package Series for Enterprise Resource Planning

PERSONALSYS の使用方法

PERSONALSYS

PERSONALSYS(メニュークリエイト)は、ソフトウェア部品群をそれぞれの職務・職責に応じて登録する機能を持つ、個人のためのシステムを構築するツールです。

登録可能なソフトウェア部品数は、最大 180 本です。

1. PERSONALSYS の機能

- ① システム管理者が、このシステムを運用するための基本的な設定を行うための機能

各担当者のメニューを構築する機能と担当者コード・パスワードの設定等の機能があります。

この機能进行操作するためのパスワードは、弊社から提供する特別なものとなります。

- ② クライアントが日常業務を行うための機能

担当者コードとその担当者のパスワードの入力により、操作可能となるものです。

2. PERSONALSYS の導入

2-1. 導入準備

利用する担当者ごとに次の項目を整理します。

① 担当者コード

英数字で、6 桁以内

担当者コードは、システム管理(SYS)と一般会計管理システム(GLS)に登録する機能があります。

担当者コードは、システム管理で登録した担当者コードが使用されます。

② 担当者パスワード

英数字で、6 桁以内

③ 利用者レベルの確認

利用者レベルとは、その担当者の職務権限に応じた制限を部品の選択により実現するものです。

・利用者レベル A

A : 業務の直接の担当者用

ソフトウェア部品実行時、自己の所属する部門の業務のみに限定され、原則として、各部品の部門欄に自己 部門が表示されます。

部門変更は、権限外のためできません。

・利用者レベル B

B : A レベルの上位に位置する課長・部長など当該部門の管理者用

ソフトウェア部品実行時、自部門の担当者コードを変更できます。

部門変更は、A レベルと同様できません。

・利用者レベル C

C : システム管理者及び経営管理者用

部門・担当者などの変更に対して、制限はありません。

担当者コード・パスワード及び利用者レベルのデータ登録は、

パスワードが漏れないように システム管理者が厳重に管理してください。

各部品の利用者レベルは、CD-ROM の DOC フォルダにあります部品表を

ご覧ください。

④ Web部品の使用

Web 対応部品の使用可否を担当者ごとに決定します。

Web 部品は、ライセンス登録を行いますので、使用可能人数はライセンスの範囲内になります。

デフォルトで、1名のライセンスを付加しています。

2-2 個人情報の登録／変更／削除

導入準備で用意した各データを以下の要領で登録します。

基本的なデータの登録・変更及び削除を行うには、システム管理者用の既定された担当者コード (PACK)、パスワード (PSLMNU) を使用します。

【システム管理者用の担当者コードおよびパスワードについて】

- 個人メニュー登録を行う PERSONALSYS を起動するためだけに使用します。
- 既定の担当者コード、パスワードのため、変更/追加/削除はできません。

① 個人情報の登録

1. PERSONALSYS の画面を開き、下記のシステム管理者用コードとパスワードを入力し、「個人別メニュー登録／変更の画面」を開きます。

担当者コード	:	PACK
パスワード	:	*****
メニュー選択	:	<input type="text"/> (A~C)

担当者コード PACK

パスワード PSLMNU

メニュー選択はblank

個人別メニュー登録／変更の画面で、「6 個人情報／パスワード登録」を開きます。

The screenshot shows a Windows application window with the title bar 'PSTART *** 個人別メニュー登録/変更 ***'. The main content area is a yellow rectangle containing a list of 8 menu items, each in a grey button:

- 1 個人別メニュー登録/変更
- 2 個人別メニュー削除
- 3 個人別メニュー一覧
- 4 ソフトウェア部品別メニュー一覧
- 5 登録ソフトウェア部品一覧
- 6 個人情報/パスワード登録
- 7 個人情報/パスワード変更
- 8 個人情報削除

At the bottom right, there is a text input field with the label '番号を入力して下さい' and a small square icon to its right. At the bottom left, there is a button labeled '前画面[F7]'.

2. あらかじめ決めておいた情報を登録します。

担当者コード 英数字 6 桁以内

担当者コードを入力すると、担当者テーブル登録(SYS9810)で登録された担当者名、部門コード、部課名が表示されます。

利用者レベル マウスでチェックして下さい。

Web 部品 マウスでチェックして下さい。

(Web 環境が構築されていること、及び Web 部品があることを前提としています。)

パスワード 英数字 6 桁以内

3. 入力内容に誤りがなければ、「登録 [F10]」をクリックします。

*** 個人情報/パスワード登録 *** 00/10/30

担当者コード :

担当者名 :

部門コード :

部課名 :

利用者レベル : (担当者) (管理者) (スーパーバイザー)

Web 部品 : 使用する 使用しない

パスワード : パスワードの確認入力 :

Web 部品使用可能人数 : Web 部品使用人数 :

前画面[F7] 登録[F10]

② 個人情報の変更

1. PERSONALSYS の画面を開き、下記のシステム管理者用コードとパスワード を入力し、「個人別メニュー登録/変更の画面」を開きます。

担当者コード PACK

パスワード PSLMNU

メニュー選択はブランク

2. 個人別メニュー登録/変更の画面で、「7 個人情報/パスワード変更」を開きます。

The screenshot shows a window titled 'PSTART' with a subtitle '*** 個人別メニュー登録/変更 ***'. The main content area contains a list of 8 menu items, each in a grey button-like box:

- 1 個人別メニュー登録/変更
- 2 個人別メニュー削除
- 3 個人別メニュー一覧
- 4 ソフトウェア部品別メニュー一覧
- 5 登録ソフトウェア部品一覧
- 6 個人情報/パスワード登録
- 7 個人情報/パスワード変更
- 8 個人情報削除

At the bottom right, there is a text prompt '番号を入力して下さい' next to a small input box. At the bottom left, there is a button labeled '前画面[F7]'.

3. パスワード変更

担当者コードと旧パスワードを入力すると、担当者名・部門コード・部課名・利用者レベルが 表示されますので、新しいパスワードを入力して下さい。

PSTART

*** 個人情報/パスワード変更 ***

00/10/30

担当者コード : 旧パスワード :

担当者名 :

部門コード :

部課名 :

利用者レベル : (担当者) (管理者) (スーパーバイザー)

Web部品 : 使用する 使用しない

新パスワード : 新パスワードの確認入力 :

Web部品使用可能人数 : Web部品使用人数 :

前画面[F7] 変更[F10]

4. パスワード以外の情報変更

担当者コードと旧パスワードを入力すると、担当者名・部門コード・部課名・利用者レベルが表示されますので、対象項目を変更します。

5. 入力内容に誤りがなければ、「登録[F10]」をクリックします。

③ 個人情報の削除

1. PERSONALSYS の画面を開き、下記のシステム管理者用コードとパスワードを入力し、「個人別メニュー登録/変更の画面」を開きます。

担当者コード PACK

パスワード PSLMNU

メニュー選択はブランク

2. 個人別メニュー登録／変更の画面で、「8 個人情報削除」を開きます。

*** 個人情報削除 *** 00/10/30

担当者コード : パスワード :

担当者名 :

部門コード :

部課名 :

利用者レベル :

Web 部品 :

前画面[F7] 削除[F10]

3. 担当者コードと旧パスワードを入力すると、担当者名・部門コード・部課名・利用者レベルが表示されますので、表示された内容が削除対象者であれば、「削除[F10]」をクリックします。

2-3 個人別メニューの登録／変更及び削除

登録済みの担当者ごとに部品を登録します。

① 個人別メニューの登録

1. PERSONALSYS の画面を開き、下記のシステム管理者用コードとパスワードを入力し、「個人別メニュー登録／変更の画面」を開きます。

担当者コード PACK

パスワード PSLMNU

メニュー選択はブランク

2. 個人別メニュー登録／変更の画面で、「1 個人別メニュー登録／変更」を開きます。
3. 担当者コードを入力すると、担当者名・部門コード・部課名・利用者レベルが表示されます。

PSTART *** 個人別メニュー登録/変更 *** 00/10/30

担当者コード: 担当者名: 部品選択:

部門コード: 部課名: 利用者レベル:

グループID: ソフトウェア部品ID:

ソフトウェア部品名:

機能1:

機能2:

対象者:

メニュー選択: A B C

実行させたい曜日: 月 火 水 木 金 土 日

実行させたい月: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

実行させたい日: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 月末

前画面[F7] 関連図[F8] 実行[F9] 登録[F10]

4. グループ ID 欄のプルダウンメニューから登録するシステムを選択します。

< 例 >

購買管理システム

販売管理システム

業務管理システム etc.

5. 指定グループに登録された部品(プログラム)がソフトウェア部品名欄に表示されますので、プルダウンメニューから順次部品を選択し登録します。

機能1欄及び機能2欄には、登録された部品(プログラム)の機能概要が表示されますので、参考として下さい。

対象者欄にはあらかじめ設定した、この部品の使用対象者が表示されます。

「**関連図[F8]**」ボタンは、流通系の場合は流通系の関連図が、製造系の場合は製造系の関連図が表示されます。

この機能を使用して、登録されている部品関係を確認することができます。（関連図については、工具箱「マニュアル」をご覧ください）

「**実行[F9]**」ボタンは、ソフトウェア部品名欄に表示されている部品を実行するためのものです。登録する部品を実行して確認します。

6. 当該担当者が処理する部品について、次の項目をチェックします。
 - メニュー選択欄の「A」「B」「C」のいずれかをチェックします。個人メニューを開くとき、必ず指定する項目となります。
 - 実行させたい曜日 欄
実行させたい月 欄
実行させたい日 欄 等をそれぞれチェックして登録します。

実行する日や曜日等をチェックしておくこと、チェックされた日にその業務を実行しなかった場合、PERSONALSYS を閉じようとする時警告が表示されます。

PSTART

*** 個人別メニュー登録/変更 ***

00/10/30

担当者コード: 担当者名: 部品選択:

部門コード: 部課名: 利用者レベル:

グループID: ソフトウェア部品ID:

ソフトウェア部品名:

機能 1:

機能 2:

対象者:

メニュー選択: A B C

実行させたい曜日: 月 火 水 木 金 土 日

実行させたい月: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

実行させたい日: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 月末

前画面[F7] 関連図[F8] 実行[F9] 追加[F10]

7. 内容に誤りがなければ、「登録(または追加)[F10]」をクリックします。

② 個人別メニューの変更(操作は、前記の登録と同じです)

1. 「1 個人別メニュー登録/変更」画面を開きます。
2. 追加登録する新たな部品名を表示します。
3. 表示されたデータでよければ、「追加[F10]」をクリックします。

③ 個人別メニューの登録確認

1. 「3 個人別メニュー一覧」画面を開きます。

担当者コード	メニュータイプ
111001	A
担当者名	松本 一

部品ID	ソフトウェア部品名
GGLS1200	仕訳伝票検索
GGLS1201	部門仕訳伝票検索
GGLS1300	仕訳伝票取消
GGLS1301	部門仕訳伝票取消
GGLS1400	仕訳伝票チェックリスト
GGLS1401	部門仕訳伝票チェックリスト
GGLS1A00	仕訳伝票登録
GGLS1A01	部門仕訳伝票登録

前画面[F7] 表示[F10]

2. 担当者コードと確認したいメニュータイプを選択し、「表示[F10]」をクリックします。

表示内容が登録した内容と一致するか確認します。

④ 個人別メニューの削除

1. PERSONALSYS の画面を開き、下記のシステム管理者用コードとパスワードを 入力し、

「個人別メニュー登録／変更の画面」を開きます。

担当者コード PACK

パスワード PSLMNU

メニュー選択はブランク

2. 個人別メニュー登録／変更の画面で、「2 個人別メニュー削除」を開きます。
3. 担当者コードを入力します。
4. グループ ID 欄のプルダウンメニューから削除するグループを選択します。
5. 指定グループの登録された部品名が表示されますので、プルダウンメニューをクリックして削除する部品を選択します。
6. 「削除[F10]」をクリックします。

削除後は、「3 個人別メニュー一覧」で登録内容の確認を行って下さい。

2-4 ソフトウェア部品別メニュー一覧

使用している担当者の状況を、部品単位で表示する機能です。

1. PERSONALSYS の画面を開き、下記のシステム管理者用コードとパスワードを入力し、「個人別メニュー登録／変更の画面」を開きます。

担当者コード PACK

パスワード PSLMNU

メニュー選択は空白

2. 個人別メニュー登録／変更の画面で、「4 ソフトウェア部品別メニュー一覧」を開きます。

PSTART

*** ソフトウェア部品別メニュー一覧 *** 00/10/30

グループID :

グループ名 :

ソフトウェア部品ID :

ソフトウェア部品名 :

担当者コード	担当者名	A	B	C
30	仕入管理(流通) -A	◎		
31	仕入管理(流通) -B	◎		
311001	石川 啓	◎		

前画面[F7] 表示[F10]

3. 表示するグループ ID を入力します。

4. ソフトウェア部品 ID 欄で、部品を選択し、「表示[F10]」をクリックするとその業務を行っている担当者 コード、担当者名、利用者レベル選択の状況が表示されます。

2-5 登録ソフトウェア部品一覧

PERSONALSYS に登録されている部品の一覧が、グループごとに表示されます。

1. PERSONALSYS の画面を開き、下記のシステム管理者用コードとパスワードを入力し、「個人別メニュー登録/変更の画面」を開きます。

担当者コード PACK

パスワード PSLMNU

メニュー選択はブランク

2. 個人別メニュー登録/変更の画面で、「5 登録ソフトウェア部品一覧」を開きます。



部品ID	ソフトウェア部品名
GKBI2110	発注点割れ品目検索
GKBI2120	発注点割れ品目一覧
GKBI2130	発注登録
GKBI2131	発注変更
GKBI2132	発注取消
GKBI2133	単品発注
GKBI2134	注文書発行(購買)
GKBI2135	単品発注照会/変更
GKBI2136	注文必要品検索
GKBI2140	納入場所テーブル登録/照会
GKBI2150	納入方法テーブル登録/照会
GKBI2210	仕入納期検索
GKBI2220	発注残一覧
GKBI2230	納期遅延一覧(購買)
GKBI2310	検索受入
GKBI2320	検索検収確定
GKBI2330	仕入先返品
GKBI2340	未検収先一覧

3. グループ ID を指定し、「表示[F10]」をクリックすると登録済みの部品が表示されます。

2-6 Web 部品の登録

Web 部品使用ライセンスは、デフォルトで1名となっています。複数でご使用になる場合は、ライセンスをご購入下さい。

また、使用する場合は、サーバーにてWeb環境が整っている必要があります。環境の構築については、[Web 部品インストールマニュアル](#)を参照してください。

1. PERSONALSYS の画面を開き、下記のシステム管理者用コードとパスワードを入力し、新規に担当者を登録する場合は「個人情報／パスワード登録の画面」を開きます。
既に登録されている担当者にWeb 部品を使用するよう設定する場合は「個人情報／パスワード変更の画面」を開きます。

担当者コード PACK

パスワード PSLMNU

メニュー選択はブランク

2. 「6 個人情報／パスワード登録」又は「7 個人情報／パスワード変更」画面を開き、担当者コード・パスワードを入力します。

Web 部品使用能人数欄が“0”となっていないことを確認します。

Web 部品欄の「使用する」をチェックし、新パスワードと新パスワードの確認欄に、パスワードを入力します。

変更ボタンをクリックすると、この担当者は、Web 部品を使用することができます。

PSTART

*** 個人情報/パスワード変更 *** 00/10/30

担当者コード	: 111001	旧パスワード	: *****
担当者名	: 松本 一		
部門コード	: 111		
部課名	: 総務課		
利用者レベル	: <input checked="" type="checkbox"/> (担当者) <input type="checkbox"/> (管理者) <input type="checkbox"/> (スーパーハイザー)		
Web部品	: <input checked="" type="checkbox"/> 使用する <input type="checkbox"/> 使用しない		
新パスワード	: *****	新パスワードの確認入力	: *****
Web部品使用可能人数	: 1	Web部品使用人数	: 0

前画面[F7] 変更[F10]

3. 「1 個人別メニュー登録/変更」画面を開きます。

PSTART

*** 個人別メニュー登録/変更 ***

00/10/30

担当者コード: 担当者名: 部品選択:

部門コード: 部課名: 利用者レベル:

グループID: ソフトウェア部品ID:

ソフトウェア部品名:

機能 1:

機能 2:

対象者:

メニュー選択: A B C

実行させたい曜日: 月 火 水 木 金 土 日

実行させたい月: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

実行させたい日: 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20
 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 月末

Web 部品を「使用する」に設定した担当者コードを入力し、「部品選択」のドロップダウンメニューから、「Web」を選択します。(Web 部品を「使用しない」とした担当者の場合、「Web」は表示されません)

グループ ID を選択し、ソフトウェア部品名のドロップダウンメニューから使用するソフトウェア部品を選択します。(ここには、Web 部品のみ表示されます)

4. Internet Explorer を開き、「 http://<サーバーの名前>/html 」を入力します。



サーバーに接続されますので、PERSONALSYSで登録した、担当者コード・パスワード・メニュー選択を 入力しログインします。

(注)担当者コードとパスワードを入力する際は、「TAB」で移動してください。

登録されているソフトウェア部品を選択し、処理を行います。

3. PERSONALSYS の画面設定

スタート画面で使用している画面は、オリジナルなものに変更できます。

対象となる画面は、Pstart.exe と Mstart.exe です。

設定方法は、表示したい絵を作成し、BSS_PACK¥SYS フォルダに置きます。

ファイルサイズは、約 627x383 ピクセル。ファイル名は、以下のとおりです。

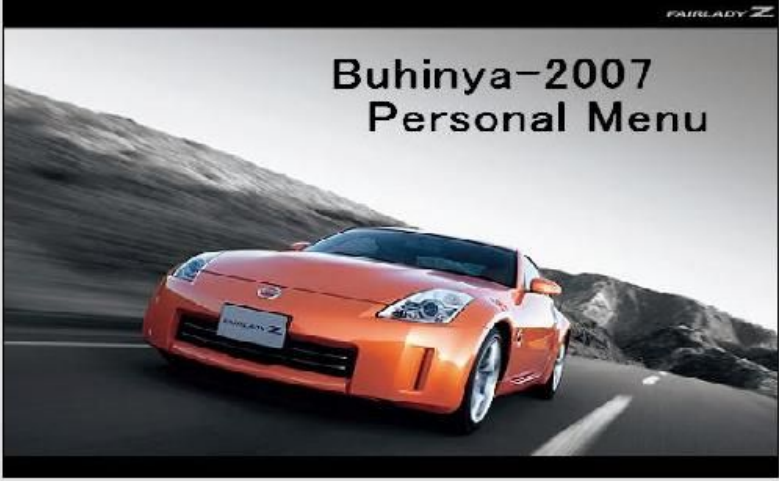
Pstart 画面 Pstart.jpg ----- JPG で作成します
Mstart 画面 bssimagm.bmp ----- BMP で作成します
(注意)ファイル名は固定です。

変更前



変更後

SWB2007



FAIRLADY Z

Buhinya-2007
Personal Menu

担当者コード : 999

パスワード : ***

メニュー選択 : (A~C)

終了[F7]

カナ CAPS NUM SCRL